

## は し が き

21 世紀になり、早くも 20 年以上の歳月がすぎた。この 20 年私たちの経済社会は大きく転換したことは誰が見ても明らかである。特に少子高齢化の進展は著しく、年金、医療、介護の制度維持が困難になり、給付と負担の関係をどうするのが最大の論点になっている。

また少子化の状況もきわめて深刻であり、合計特殊出生率は 1.37 人、世界の中でも子どもが少ない国にわが国はなってしまうている。1990 年代から子育てプラン等のサービス整備に国は力をいれているが、残念ながら功を奏していない。政策を練り直し、財源確保、人材確保を早急にしなければ、ますますわが国の少子化は進展し、解決は手遅れになることが予想されている。

このような社会状況の中、2018（平成 30）年 6 月に厚生労働省は指定保育士養成施設の指定及び運営の基準等を一部改正した。この内容は、これまでの保育士養成をさらに改め、一言でいえば、これまで以上に実践力、応用力を持った保育士養成をめざすことを主眼としたのである。これを受け、本書『子ども家庭福祉』を発刊した次第である。この制度改正により、子ども、家庭の支援体制や仕組みを講じる内容を公刊することになった。

さて、本書では、最近の子ども、家庭の現状、実態を明らかにし、その中で利用できる社会資源、サービス等をわかりやすく説明したつもりである。執筆も子ども家庭福祉の熱い志を持つ研究者、実践家が担当し、初心者でも理解できるよう努力した。

ただ各章で重なるテーマがあるが、執筆者の思いもあり、お許しをいただきたい。本書で学習することにより、少しでも学習者のお役に立てれば幸いである。また本書が保育士養成だけでなく、社会福祉士養成、他の医療、保健の専門職養成のテキストとして利用していただければ有難い。

最後に大学教育出版の佐藤社長・編集の社さんには何かとお世話になった。紙面を借りて感謝したい。

2022 年 4 月 1 日

松井 圭三・小倉 毅



子ども家庭福祉

---

目 次

はしがき	i
------	---

## 第1章 現代社会と子ども 1

1. 現代社会における少子化 1
2. 少子化の背景 2
3. 少子化が社会、子どもに与える影響 2
4. 現代社会と高齢社会 3
  - (1) 高齢社会の現状 3
  - (2) 高齢者による子育て支援 4
  - (3) 家族、子どもの貧困化 4
  - (4) 子どもの理念 5
  - (5) 子どもの虐待 7
  - (6) 子どもが犠牲になる一家心中 8
  - (7) 300日問題 9
  - (8) 戸籍法の課題 10
  - (9) 障がい児の命の値段 10

## 第2章 子ども福祉の歴史 12

1. 欧米における子ども福祉の歴史 12
  - (1) イギリス 12
  - (2) アメリカ 14
2. 日本における子ども福祉の歴史 15
  - (1) 原始から古代 15
  - (2) 中世 17
  - (3) 近世 17
  - (4) 近代(明治～大正) 20
  - (5) 昭和(戦前～戦中) 23

## 第3章 子ども福祉の理念と仕組み ..... 26

1. 子ども福祉の理念 27
  - (1) 日本国憲法 27
  - (2) 児童福祉法 27
  - (3) 児童憲章 28
  - (4) 児童権利宣言 29
  - (5) 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約） 30
2. 子ども福祉とは 32
  - (1) 広義の子ども福祉と狭義の子ども福祉 32
  - (2) 子どもの定義 33

## 第4章 子ども福祉制度の法体系 ..... 36

1. 子ども福祉に関する法律 36
  - (1) 児童福祉法 36
  - (2) 近年の改正 40
  - (3) 子ども福祉を支える関係諸法 48
  - (4) その他の関連法 59
2. 子ども福祉の仕組み 61
  - (1) 行政機関（国及び公共団体） 61
  - (2) 子ども福祉の審議機関 62
  - (3) 実施機関 64
3. 児童福祉施設 68
  - (1) 助産施設 68
  - (2) 乳児院 69
  - (3) 母子生活支援施設 69
  - (4) 保育所 70
  - (5) 児童厚生施設 71
  - (6) 児童養護施設 71
  - (7) 障害児施設・事業の再編 72

- (8) 福祉型障害児入所施設 72
- (9) 医療型障害児入所施設 74
- (10) 福祉型児童発達支援センター 75
- (11) 医療型児童発達支援センター 75
- (12) 情緒障害児短期治療施設（児童心理治療施設） 76
- (13) 児童自立支援施設 76
- (14) 児童家庭支援センター 77

## 第5章 子ども福祉の現状…………… 78

- 1. 母子保健対策 78
  - (1) 母子保健法 78
  - (2) 乳幼児健康診査 80
  - (3) 母子保健に関する国の取り組み（厚生労働省予算から） 81
  - (4) 各種の国の事業 82
  - (5) 母子保健関係の行政組織 83
  - (6) 母子保健の政策の動向 83
  - (7) 健やか親子21（第2次） 84
  - (8) 第4次少子化社会対策大綱 86
- 2. 母子・父子・寡婦対策 87
  - (1) 母子世帯・父子世帯の状況 87
  - (2) 母子寡婦対策の主要な法制度の歴史 90
  - (3) 母子及び父子並びに寡婦福祉法 91
  - (4) 母子福祉資金・父子福祉資金・寡婦福祉資金 92
  - (5) 母子及び父子並びに寡婦福祉法に定める措置 92
  - (6) 母子・父子自立支援員 93
  - (7) 母子・父子福祉施設 94
  - (8) 母子生活支援施設 94
  - (9) 国のひとり親家庭への自立支援策 95
  - (10) 遺族年金 96

(11) 児童扶養手当	97
3. 子ども健全育成対策	98
(1) 子ども健全育成対策と非行少年対策	98
(2) 児童厚生施設	99
(3) 児童福祉文化財の推薦	99
(4) 児童手当	100
(5) 放課後児童健全育成事業	100
(6) 新・放課後子ども総合プラン	103
 第6章 子ども福祉を担う人びと	 104
1. 児童福祉機関と専門職	104
(1) 児童相談所の専門職	104
(2) 福祉事務所における家庭児童相談室	107
(3) 保健所	108
2. 児童福祉施設と専門職	111
3. 専門職の資格	111
(1) 保育士	111
(2) 児童指導員	111
(3) 母子支援員	112
(4) 児童の遊びを指導する者	113
(5) 児童自立支援専門員	113
(6) 児童生活支援員	115
(7) 家庭支援専門相談員	115
 第7章 地域の子育て支援体制と援助活動の実際	 117
1. 子育て支援対策	117
(1) 子育て支援に対する国の取り組み—厚生労働省予算から—	117
(2) 新子育て安心プラン	121
(3) 次世代育成支援対策推進法	121

(4) 子ども・子育て支援事業	122
(5) 家庭的保育事業	123
2. ボランティアの地域援助活動（事例）	124
3. 子ども虐待の現状と子育て支援体制	125
(1) 「児童虐待の防止等に関する法律」制定の背景	125
(2) 児童虐待の種類と定義	127
(3) 子ども虐待と親子関係	129
(4) 虐待の察知・早期発見の大切さ	131
(5) 児童虐待防止法の主な条文とその特長	134
(6) 児童虐待を察知発見・通告後の連携・協力機関について	138
(7) 被虐待歴を有する子ども達にどう対応するか	140
(8) 親子分離による児童福祉施設での支援	144
(9) おわりに	146

著者紹介	148
------	-----